

1 授業の履修および科目認定の条件

- (1) すべての授業時間ごとに、学生個人別の出席状況を記録し、授業態度を確認する。また、必要に応じて小テスト等を実施し、学生の理解度を把握する。
- (2) 授業科目ごとの認定条件は、以下の2点である。
- ① 学科ごとに定められた出席率以上であること。
 - ② 定期試験、レポート、出席率、授業態度等を総合的に判断した成績（評価点）が60点以上であること。
- (3) 各学科で定める出席率は、以下の通りとする。（学年毎の基準）

学科	映像音響学科	電気通信工学科	食品生命科学科	建築工学科	建築工学研究科	測量環境工学科	二級自動車工学科	一級自動車工学研究科	ICTライセンス学科	国際情報学科	国際機械工学科	国際自動車工学科	進学準備学科	日本語学科
出席率 (学年毎)	70%	70% ※1	70%	70%	70%	70% ※2	70% ※3	70% ※3	60時間 ※4	70%	70%	70% ※3	90% ※5	90% ※5

※1：「第二種電気工事士養成施設」に関わる科目の出席率は100%とする。

※2：「測量士補養成施設」に関わる測量専門科目の出席率は100%とする。

※3：実習の出席率は95%以上、「自動車整備士養成施設」に関わる科目の出席率は90%とする。

※4：スクーリングの出席 各グレード60時間。

※5：日本語学科の進級について出席率90%に満たない学生については、退学を勧告する場合がある。

また、卒業条件は1年次、2年次のそれぞれの出席率が90%以上であることとする（進学準備学科は通年で90%以上）。なお、該当しない者については期間修了とする。

- (4) 映像音響学科、電気通信工学科、食品生命科学科、建築工学科、測量環境工学科、国際情報学科、国際機械工学科、二級自動車工学科、一級自動車工学研究科、国際自動車工学科において行われる企業との連携による授業（実習、演習、インターンシップ等）は、全員が履修するものとする。

2 進級・卒業の認定要件

進級・卒業は、学年ごとに以下の条件をすべて満たした者に対し、進級・卒業判定会議の議決を経て、校長が認定する。

- (1) 学納金
定められた授業料、学生諸費等の学納金が完納されていること。
- (2) 出席率
全科目の平均出席率が、学科で定められた出席率以上であること。

(3) 成績

全科目に対する認定科目の割合(科目認定率)が、学科で定めた率以上であること。

学科	映像音響学科	電気通信工学科	食品生命科学科	建築工学科	建築工学研究科	測量環境工学科	二級自動車工学科	一級自動車工学研究科	ICTライセンス学科	国際情報学科	国際機械工学科	国際自動車工学科	進学準備学科	日本語学科
科目認定率(学年毎)	85%	85%※1	85%	100%	85%	85%※2	85%	85%	※3	85%	85%	85%	100%	100%

※1:「第二種電気工事士養成施設」に関わる科目は100%とする。

※2:「測量士補養成施設」に関わる科目は100%とする。

※3: ICTライセンス学科は単位制学科で、4段階のグレード(A B C D)がある。進級または卒業の認定要件は下表の通りである。

グレード	A	B	C	D
グレードごとの配当単位数	17単位	16単位	16単位	17単位
進級に必要な単位数 A → B C → D	15単位 以上		14単位 以上	
進級・卒業に必要な単位数 進級 B → C 卒業 D → 卒業	31単位以上		31単位以上	

(4) 素行

授業態度、生活態度等の素行が良好なこと。

3 客観的な成績指標の算出方法

上記1(2)②のとおり、成績は評価点で評価する。その詳細は以下のとおりとする。

- (1) 科目ごとの成績は評価点を用いて評価し、以下にしたがって決定する評価区分を記録する。

評価点	評価区分
90～100	S(秀)
80～89	A(優)
70～79	B(良)
60～69	C(可)
0～59	D(不可)

- (2) 客観的な成績管理には、評価区分ごとに設定するポイント(GPA, Grade Point Average)を用いる。評価区分ごとのポイントは、

「S-A-B-C-D」に対して「5-4-3-2-1」

とする。